

肥後 洋一郎 <http://y-higo.net/>

2017年 冬 号

GO! HIGO JOURNAL



公明党 大阪府議会議員 肥後 洋一郎 府政事務所

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貴々堂ビル203号 TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145

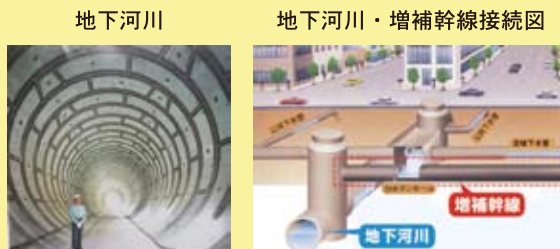
さらなる治水対策の強化を! 「寝屋川北部地下河川の早期完成を求める」



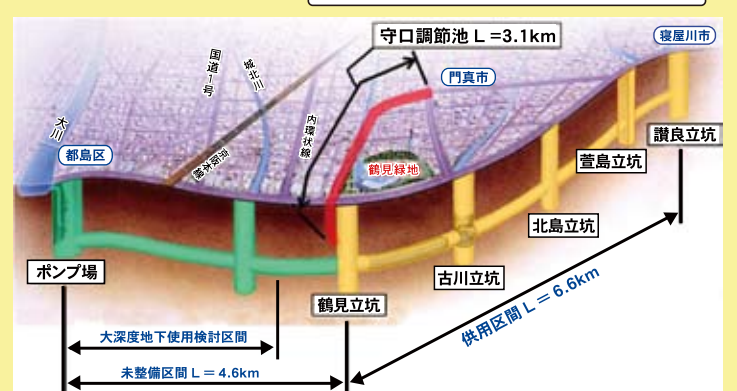
9月定例会で質問する肥後議員

浸水被害を大幅に軽減する寝屋川北部地下河川の整備状況と今後の取組みについて質問しました。現在、地下河川とそれにつながる下水道増補幹線で25m プール約1,000杯分に当たる約35万 m^3 の雨水貯留が可能。今年度末にはさらに5万 m^3 増の約40万 m^3 の雨水貯留が可能となります。また守口調節池の工事を進めており、完成すれば、6万 m^3 増の46万 m^3 の雨水貯留が可能になります。(平成32年度供開始予定)

地下河川としては全国初となる大深度地下使用法の今年度内の認可申請をめざし国と協議を進めています。



寝屋川北部地下河川 概略図



安心・安全なまちづくりを推進 「密集市街地対策」～対馬江 大利線事業～

延焼遮断帯としての整備効果が高く、交通の利便性と安全性の向上を図り、良好な都市環境を形成するため、対馬江大利線事業を進めています。この事業の「見える化」を促進するため、まちの姿を分かりやすくイメージできる看板設置を5月定例会で求めていましたが、11月27日、府民の目に付きやすい、寝屋川市駅前と高柳栄町に設置されました。また、府は、地区ごとにまちの燃え広がる危険性を色分けし、道路や公園の整備状況を分かりやすく示した「密集ハザードマップ」を地元市と調整の上作成し、今年度末の公表を目指します。



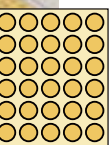
寝屋川市駅前イメージ看板

完成イメージ▶

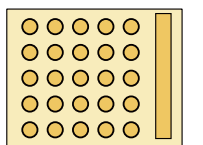


鉄道駅のホームからの転落防止対策を! 「内方線付点状ブロック」の設置

視覚障がい者の3人に2人が経験しているといわれるホームでの転落事故を防ぐため、「可動式ホーム柵」とともに、「内方線付き点状ブロック」の設置を求めました。線状の突起が無い従来型のブロックはすでに普及しているものの、転落防止の効果がより期待できるものとして、今年度末までに府内にある全512駅の内、1万人以上の乗降客がある全ての駅303駅に設置されることになります。視覚障がい者が駅のホームを安心して利用できるように、府内の約500駅全てに「内方線付き点状ブロック」が一日でも早く設置されるよう、府としても鉄道事業者に強く働きかけていただくよう要望しました。



従来型



内方線付点状ブロック

大阪府が「LINEいじめ相談」を開設



大阪府の小中高校で認知件数が年間1万件を超え、深刻さを増す「いじめ」問題。今の子ども達にとって相談しやすい環境をつくるため、従来の電話相談に加え、10代のメインのコミュニケーション手段となっている「LINE」をいじめ相談に活用することを10月の一般質問で大阪府知事に求めてきました。府は2018年1月に、府立高校10校程度で「LINE」を活用した「健やか相談@大阪府」を試行実施し来年度の本格実施を目指す事を明言しました。

◀ LINE いじめ相談を想定した研修会 (関西カウンセリングセンター)

★ 府政に対するご意見、ご要望をお寄せください。

私立高校無償化 平成31年度以降も継続を がん先端治療 府独自の支援制度を 9月定例会 公明党府議団代表質問より

9月27日に始まった平成29年9月定例会で、公明党大阪府議会議員団は府政の諸課題に対し、府民の立場から議論を進めています。また、10月4日には大橋章夫議員（政調会長、枚方市選出）が代表質問に立ち、がん先端治療の支援制度や、私立高校無償化などについて質疑・質問をしました。主な内容は以下の通りです。



▲代表質問する大橋議員

府財源は教育の拡充に 私立高校無償化に国費投入なら

公明党府議団は平成23年度から府が実施している私立高校の授業料無償化制度を31年度以降も維持・拡充するよう今議会の代表質問でも求めています。府は大阪の教育力向上につながっているとしたうえで、31年度以降も制度の根幹を維持し、拡充も検討すると答えました。

11月6日の総務常任委員会の知事質問で公明党が国による私立高校の無償化を衆院選で訴えたことを踏まえ、実現した際に生み出される府の財源は教育に限定して使うべき、と指摘。知事は「仮に実現すれば、大阪を支えてくれる次世代のための財源に使いたい」としました。



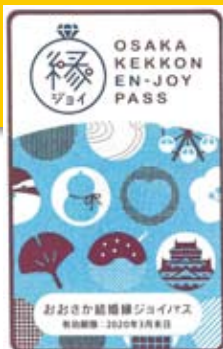
がん患者の経済的な負担を軽減へ

大阪国際がんセンター（大阪市中央区）の隣接地に平成30年3月開設予定の重粒子線がん治療施設は「がん患者への身体への負担が少ない最先端治療であり、期待も大きい」と指摘。その上で治療費が高額であり、患者の経済的負担を軽くする府独自の制度を創設すべきと迫りました。府は先行事例を参考に、金融機関の協力も得ながら検討する考えを示しました。

◀来年3月開所予定の重粒子線治療施設

特典付きパスで新婚の皆さんを応援 婚活イベントも公明が実現

結婚支援について、経済負担の軽減や機運醸成に向け、府内在住の新婚世帯や今後1年以内に結婚を予定しているカップルを対象に11月1日「おおさか結婚縁ジョイパス」ができました。協賛店で提示すると特典があります。また、民間事業者との事業連携協定に基づき、婚活イベントもすでに2回開催しました。どちらも公明党府議団が実現に向け、府に働きかけていました。



▲縁ジョイパス

万博誘致の機運盛り上げへ 絵画展の作品を展示

2025年の万国博覧会の大阪誘致に向け、国民全体に見えるアピールや情報発信の重要性を訴えました。府は誘致委員会と連携し、全国から2000点以上集まった万博絵画展の子どもたちの作品を空港や鉄道駅などで展示し、大阪・関西の機運の盛り上げを目に見える形で発信し、全国に広げていくとのこと。絵画展は公明党府議団の提案で実施しました。

「殺処分ゼロ」へ 犬・猫の譲渡を推進

「殺処分ゼロ」を目指し、8月に開所した府動物愛護管理センター、「アニマルハーモニー大阪」での犬や猫などの譲渡に向けた取り組みについていただきました。府は土日祝日も開所し、幅広い世代に来てもらえるようにしていることや、譲渡前の講習会、譲渡後の相談対応など一貫した支援をする、と答えました。



▲8月に開所したアニマルハーモニー大阪



▲猫の室内飼育体験施設（アニマルハーモニー大阪内）

・討論より・

11月8日の本会議で上程議案などに対し、公明党府議団の意見を表明する「討論」をしました。概要は以下の通りです。

- 年明けの博覧会国際事務局（BIE）の現地調査で、大阪で万博を開催すべきだとの確信を持ってもらえるよう万全の準備を。
- 2019年に開催される20か国・地域首脳会合（G20）は世界に大阪の存在感をアピールする絶好の機会。府は確実に誘致を勝ち取ってほしい。
- 大阪府立大学と大阪市立大学の合併に向け、人材育成をはじめ具体的なビジョンが必要。適切な情報発信も。
- 重粒子線がん治療施設の治療費補助制度の創設など、府は患者支援でも日本一を目指すべき。

- ギャンブルなどの依存症対策は全庁的な推進体制を整備し、計画やガイドラインの策定、条例制定など未然防止を含めた総合的な取り組みを。
- 少子化対策で教育の支援は重要。国による私立高校の授業料無償化制度が実現した場合、生み出された一般財源は教育支援や教育環境の充実に最優先に振り向けるべき。

公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。
▶ <http://www.komei-fu.com>